

令和4年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

当初予算説明資料

— 目 次 —

1 予算編成方針	1
2 予算の施策方針と主な事業の概要	2
3 事業計画	6
4 収益的収入及び支出	6
5 資本的収入及び支出	6
6 債務負担行為	6
7 企業債	6
8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表	7
9 第2次水道施設整備計画位置図	9

1 予算編成方針

我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、世界的な供給制約や資源価格上昇の影響による景気の下振れリスクに十分注意しなければならない状況にあります。また、ウィズコロナの下において一日も早く通常に近い社会経済活動の再開を図る一方で、新たな変異株の出現による感染症の影響懸念など、不安定な状況が続いています。

こうした中政府は、感染症の対応に万全を期すとともに、「新しい資本主義」を起動させ、「成長と分配の好循環」を実現するため、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を策定しました。この経済対策の4つの柱の1つである「防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保」に係る水道事業の取組として、災害に強いライフラインの構築、予防保全の考え方に基づく老朽化対策、インフラ部門におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進などが示されており、こうした政府の施策を注視していかなければなりません。

本企業団に目を向けますと、令和3年度は、第3次アクア・シンフォニー計画の初年度として管路の更新率1.25%の実施を始めとした目標の達成に向けてスタートを切りました。更新需要の増大により多額の投資が必要とされる一方で、給水人口の増加が急激に鈍化しており、給水収益は前年度の実績を若干上回る程度にとどまっています。今後の動向については未だ予測し難いところですが、感染症の影響を始めとする社会経済情勢の変化等に適宜対応し、効率的な事業運営を行っていくことが求められます。

こうした状況下において、計画の2年目を迎える令和4年度においても、引き続き基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて事業を推進していかなければなりません。しかしながら、昨今の急激な工事費の上昇は、今後の事業計画に多大な影響を与えることが予測され、投資財源の確保が喫緊の課題となっております。令和4年度においては、企業債の増額により財源を確保しつつ、住民生活や経済活動を支え、コロナ禍においても衛生面で重要な役割を担うインフラとして、「蛇口をひねれば当たり前に出てくる水道水」を安全かつ安定的に供給し、水道施設への予防保全と投資のバランスを図りながら、限られた財源を無駄なく適切に投資することにより、将来にわたって持続可能な水道事業を展開できるよう努めていきます。

令和4年度の予算編成にあたっては、各種事業における重要度、緊急度及び効果性を勘案した上で、その優先度を評価し、優先すべき事業に予算を重点的かつ効率的に配分することを考慮し、編成しました。

2 予算の施策方針と主な事業の概要

★★水道事業ビジョン★★
第3次アクア・シンフォニー計画
(令和3年度～令和12年度)

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、水質検査の正確性や分析技術の向上を図ります。
 - ・ 適正な水質管理 … 1,792万円
(一部農薬項目等の水質検査業務委託、三ヶ峯配水場滅菌設備更新工事他)
 - ・ 水質検査精度管理 … 2,743万円
(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)
 - ・ 水安全計画の検証 … 242万円
(水安全計画改定業務委託)
2. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続します。
 - ・ 施設警備委託 … 362万円
(水道施設警備業務委託、防犯灯設置工事他)

計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新します。

・老朽管路の更新 … 19億8,311万円

〔みよし市三好町弥栄他地内配水管布設替工事始め45件 L=17,891m、
老朽管路更新に伴う設計委託2件〕

2. 災害時に備えるため、基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行います。

・基幹管路の耐震化 … 2億3,980万円

(横道グリーン線配水管布設替工事その17 L=149m、基幹管路耐震化に伴う設計委託1件)

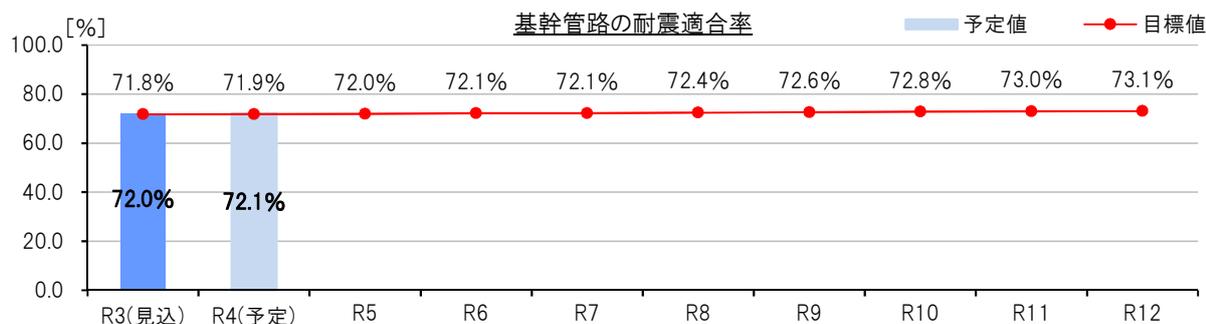
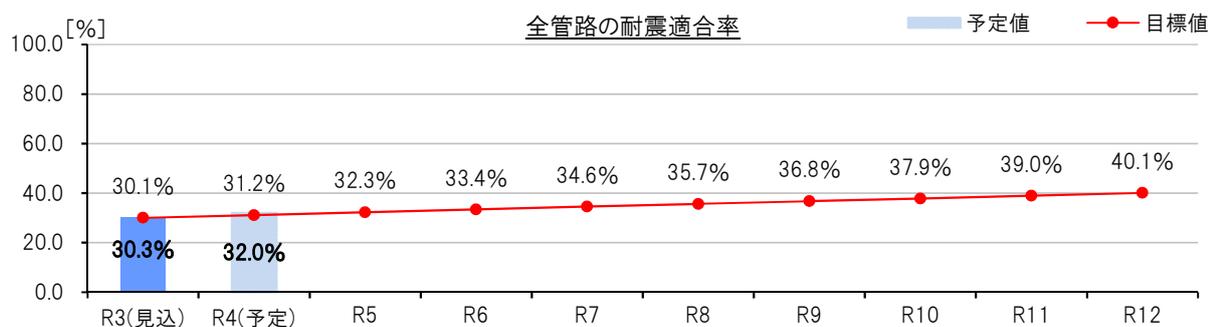
・重要給水施設管路の耐震化 … 6億1,918万円

(東郷町和合ヶ丘他地内配水管布設替工事始め6件 L=3,641m)

第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路の更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。



※管路耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K型継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。

※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

II 水道施設のレベルアップ

(主な事業)

1. 水道水を継続的に供給していくため、水道施設を適切に維持管理し、老朽化した施設を計画的に更新します。

・配水池のリフレッシュ …… 1億230万円（二村山配水場屋根外壁補修工事他）

・遠方監視システムの適正管理 …… 9,471万円

（計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他）

2. 水道事故を未然に防止するため、管路を適切に維持管理します。

・漏水調査 …… 5,026万円（漏水調査業務委託他）

・仕切弁等点検 …… 993万円（管路施設点検業務委託）

・管洗浄等の実施 …… 4,430万円（既設管内調査業務委託、配水管内クリーニング工事他）

3. 区画整理事業や公共工事と同調し、効率的に配水管を整備します。

・区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 3億3,567万円

〔豊明寺池土地区画整理内配水管布設工事その1 始め8件 L=4,849m、
区画整理事業に伴う設計委託2件〕

・公共工事と同調した配水管整備 …… 1億5,742万円

（日進市本郷町古郷地内配水管布設替工事その1 始め5件 L=1,330m）

III 危機管理対策の推進

(主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備します。

・災害用資機材の確保 …… 404万円

（非常用飲料水袋の購入、IP無線機賃借料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料他）

計画3 「持続」いつも信頼できる水道システム

I 水道水の安定供給

(主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行います。

また、老朽化や水質状況を考慮し、自己水源の適切な維持管理を行います。

・県営水道からの受水 …… 24億1,067万円

（承認基本給水量 102,500m³/日、年間予定受水量 35,027,000m³）

・自己水源の合理化 …… 2,052万円

（福谷水源の井戸清掃工事、濾材活性化工事、取水ポンプ・送水ポンプ取替他）

II お客様との連携の促進

(主な事業)

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、サービスのさらなる向上を図ります。
 - ・ 給水事務の迅速化 …… 262万円（給水システム保守業務委託）
 - ・ 配水補助管助成金制度の継続 …… 3,561万円（配水補助管助成金）
2. 将来を担う子どもたちを対象として、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行います。
 - ・ 水道学習の実施 …… 35万円（小学生を対象とした出前授業の実施）
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する情報を分かりやすく提供します。
 - ・ 広報広聴活動の充実 …… 651万円
(広報誌「ふれっしゅ水道」(年間4回発行、予定部数558,000部)作成委託他)

III 持続可能な水環境づくり

(主な事業)

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続します。
 - ・ 太陽光発電設備、電気自動車の活用 …… 20万円（太陽光発電設備の年次点検業務委託）
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに、ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備を継続します。
 - ・ 「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 2,079万円
 - ・ 水源地域との交流事業 …… 201万円
(ボランティア組織「水源の森応援隊」による植樹などの森林整備活動の実施、森林ボランティアリーダー実技講習会の開催他)

IV 健全かつ安定した事業運営

(主な事業)

1. 自己財源の負担軽減を図るため、各種補助金制度を活用して財源の確保に努めます。
 - ・ 補助金制度の活用 …… 5,236万円（愛知県生活基盤施設耐震化等補助金）
2. 事業実施に必要な財源を確保し健全経営を継続するため、企業債の適正な借入に努めます。
 - ・ 企業債の適正借入 …… 7億円（利率が4.0%以内の公的資金を借入れ）

V 人材育成・組織力の強化

(主な事業)

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、研修内容を改善し充実させます。
 - ・ 職員教育の充実 …… 222万円（内部・外部研修の実施）

3 事業計画

(1) 業務の予定量

区 分	単位	令和4年度 予定 A	令和3年度		増減 C (A-B)	増減率(%) (C/B)
			当初予定 B	見 込		
給 水 戸 数	戸	137,400	136,200	136,900	1,200	0.9%
給 水 人 口	人	327,200	328,200	326,700	△ 1,000	△ 0.3%
総 給 水 量	千m ³	35,566	35,588	35,550	△ 22	△ 0.1%
(うち県営水道受水量)	千m ³	35,027	35,034	34,985	△ 7	0.0%
有 収 水 量	千m ³	33,610	33,596	33,560	14	0.0%
有 収 率	%	94.5	94.4	94.4	0.1	0.1%
1 日 平 均 給 水 量	m ³	97,441	97,501	97,397	△ 60	△ 0.1%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	ℓ	297.8	297.1	298.1	0.7	0.2%
1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	ℓ	281.4	280.5	281.4	0.9	0.3%
職 員 数	人	97	98	97	△ 1	△ 1.0%

(2) 建設改良事業の概要

科 目	予算額	主な事業
配 水 設 備 改 良 費	4,263,823千円	第2次水道施設整備事業 土地区画整理等受託事業
固 定 資 産 購 入 費	37,893千円	水質検査機器(イオンクロマトグラフ・ポストカラム装置)更新

4 収益的収入及び支出

水道事業収益7,713,807千円に対して、水道事業費用は6,531,651千円で差引き1,182,156千円が税込み当年度純利益となります。なお、消費税及び地方消費税を整理すると894,275千円の税抜き当年度純利益となります。

5 資本的収入及び支出

資本的収入1,479,584千円に対して、資本的支出は4,566,553千円となり、差引き不足額3,086,969千円は、減債積立金19,000千円、建設改良積立金354,076千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額274,392千円、過年度分損益勘定留保資金1,317,662千円、当年度分損益勘定留保資金1,121,839千円で補てんする予定です。

6 債務負担行為

事 項		期 間	限度額
管路耐震化工事	三ヶ峯幹線その4	令和5年度	415,415千円
老朽管路更新工事	豊明市新左山他地内、新栄町3丁目他地内、新田町錦地内	令和5年度	805,005千円
	日進市藤島町東浦他地内、東山五丁目地内、岩崎台一丁目地内		
	みよし市三好町東山他地内、三好町石塚他地内、筋生町水洗他地内		
	長久手市平池地内、喜婦獄地内		
	東郷町北山台3丁目他地内、御岳1丁目地内	令和5年度 から 令和6年度 まで	1,393,667千円
	豊明市三崎町他地内		
	日進市梅森台三丁目他地内		
	みよし市東陣取山他地内		
	長久手市山野田地内		
東郷町白鳥2丁目他地内			

7 企業債

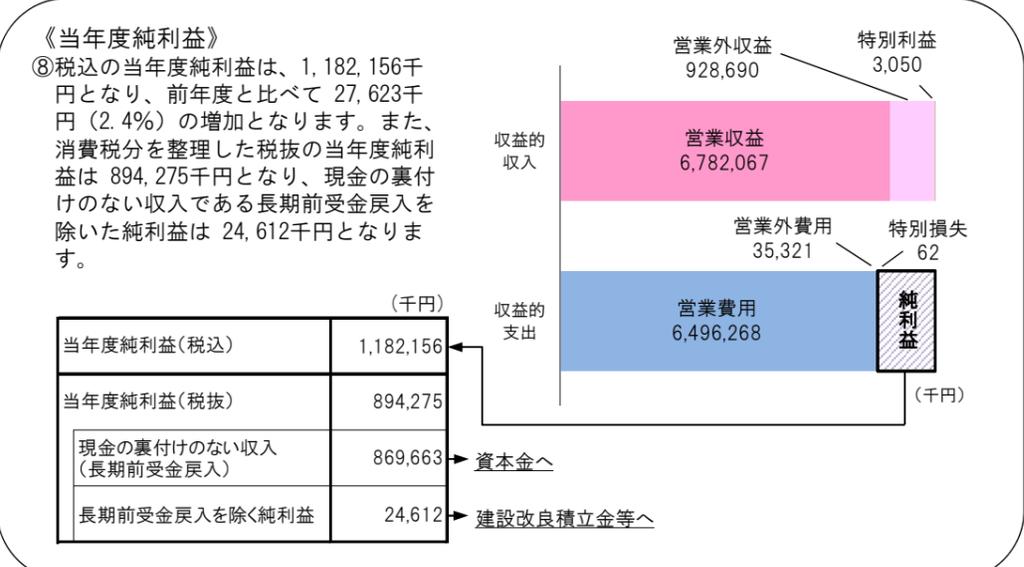
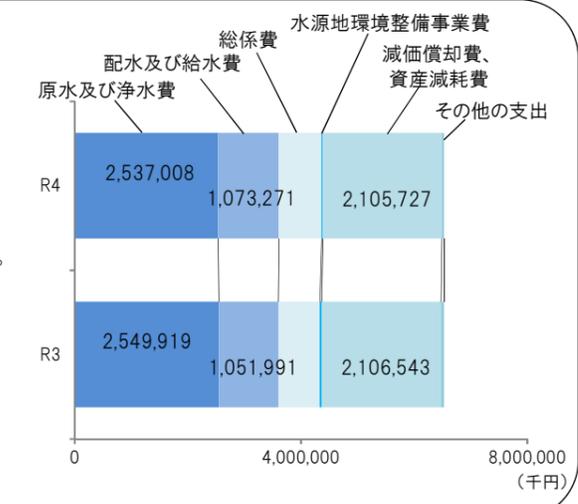
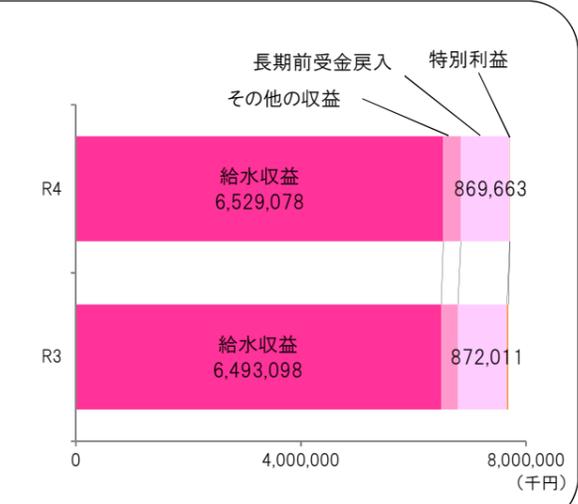
配水設備改良事業の財源として、限度額を700,000千円と定め、利率が4.0%以内の公的資金を借り入れる予定です。

8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表

(1) 収益的収支 ※収益的収支（損益勘定）とは、1年間で水道水を供給して得る収入と供給に要する費用（支出）の内訳を表すものです。〔予算書P4～P5〕

(単位:千円)

収入科目	令和4年度 予定額	令和3年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
営業収益	6,782,067	6,744,001	38,066	0.6%		<p>《収益的収入》</p> <p>①営業収益のうち給水収益は、1人1日当たりの使用水量及び供給単価の増加により、前年度と比べて35,980千円(0.6%)の増加となります。</p> <p>②営業外収益のうち消費税還付金は、配水設備改良事業の増加に伴う仮払消費税の増加により、前年度と比べて10,233千円(皆増)の増加となります。</p> <p>③特別利益のうちその他特別利益は、退職給付引当金戻入益の減少により、前年度と比べて19,625千円(△86.5%)の減少となります。</p>
給水収益	6,529,078	6,493,098	35,980	0.6%	水道料金及び水道水源環境保全基金収入	
受託工事収益	803	803	0	0.0%		
その他営業収益	232,965	229,410	3,555	1.5%	給水工事に伴う設計事務費、下水道徴収事務負担金他	
他会計負担金	19,221	20,690	△1,469	△7.1%	消火栓等維持管理負担金他	
営業外収益	928,690	919,307	9,383	1.0%		
受取利息	3,244	3,245	△1	0.0%	預金利息、有価証券利息他	
他会計補助金	199	0	199	皆増	フレイル実証に伴うスマートメータ設置費用の豊明市負担分	
長期前受金戻入	869,663	872,011	△2,348	△0.3%	減価償却費等に対応する長期前受金の収益化	
雑収益	45,351	44,051	1,300	3.0%	行政財産目的外使用料他	
消費税還付金	10,233	0	10,233	皆増	仮払消費税の増加に伴う還付金の発生	
特別利益	3,050	22,675	△19,625	△86.5%		
その他特別利益	3,050	22,675	△19,625	△86.5%	退職給付引当金戻入益	
水道事業収益計(A)	7,713,807	7,685,983	27,824	0.4%		
支出科目	令和4年度 予定額	令和3年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	<p>《収益的支出》</p> <p>④配水及び給水費は、水道施設維持管理業務委託に伴う委託料の増加等により、前年度と比べて21,280千円(2.0%)の増加となります。</p> <p>⑤総係費は、庁舎改修工事に伴う修繕費の増加等により、前年度と比べて23,535千円(3.2%)の増加となります。</p> <p>⑥減価償却費は、新規稼働資産の増加により、前年度と比べて93,498千円(4.9%)の増加となります。</p> <p>⑦資産減耗費は、用途廃止資産の除却費の減少により、前年度と比べて94,314千円(△49.0%)の減少となります。</p>
営業費用	6,496,268	6,477,880	18,388	0.3%		
原水及び浄水費	2,537,008	2,549,919	△12,911	△0.5%	県営水道受水費他	
配水及び給水費	1,073,271	1,051,991	21,280	2.0%	配水施設等維持修繕費他	
受託工事費	803	803	0	0.0%		
総係費	754,262	730,727	23,535	3.2%	検針・収納等営業業務委託料他	
議会及び監査費	2,394	2,730	△336	△12.3%		
水源地環境整備事業費	22,803	35,167	△12,364	△35.2%	水源地環境整備事業助成金他	
減価償却費	2,007,702	1,914,204	93,498	4.9%	有形固定資産構築物他	
資産減耗費	98,025	192,339	△94,314	△49.0%	用途廃止資産の除却費及び施設撤去費他	
営業外費用	35,321	53,388	△18,067	△33.8%		
支払利息及び企業債取扱諸費	30,221	37,280	△7,059	△18.9%		
雑支出	5,100	5,100	0	0.0%	過年度分水道料金減免他	
消費税及び地方消費税	0	11,008	△11,008	皆減		
特別損失	62	182	△120	△65.9%		
過年度損益修正損	62	0	62	皆増	貸倒損失	
その他特別損失	0	182	△182	皆減	貸倒引当金繰入額	
水道事業費用計(B)	6,531,651	6,531,450	201	0.0%		
当年度純利益(A-B)	1,182,156	1,154,533	27,623	2.4%		



(2) 資本的収支

※資本的収支（資本勘定）とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費（支出）と、その財源（収入）の内訳を表すものです。〔予算書P6～P7〕

(単位:千円)

収入科目	令和4年度 予定額	令和3年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
企業債	700,000	300,000	400,000	133.3%	配水設備改修事業の財源として借入れ
県補助金	52,360	51,370	990	1.9%	重要給水施設管路耐震化事業に対する県補助金
工事負担金	726,894	740,611	△ 13,717	△ 1.9%	土地区画整理等受託事業に伴う負担金他
固定資産売却代金	330	299	31	10.4%	公用車処分に伴う帳簿原価
資本的収入計 (C)	1,479,584	1,092,280	387,304	35.5%	
支出科目	令和4年度 予定額	令和3年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
建設改良費	4,301,716	4,061,686	240,030	5.9%	
配水設備改良費	4,263,823	4,020,728	243,095	6.0%	水道施設整備事業、土地区画整理等受託事業他
固定資産購入費	37,893	40,958	△ 3,065	△ 7.5%	水質検査機器更新他
企業債償還金	259,352	289,711	△ 30,359	△ 10.5%	
補助金返還金	5,485	2,260	3,225	142.7%	令和3年度県補助金に含まれる消費税相当額の返還分
資本的支出計 (D)	4,566,553	4,353,657	212,896	4.9%	
差引額 (C-D)	△ 3,086,969	△ 3,261,377	△ 174,408	△ 5.3%	△の場合は収入が不足

《資本的収入》
⑨配水設備改修事業の財源として、限度額を700,000千円と定め、企業債の借入れを行います。

《資本的支出》
⑩水道施設整備事業として、みよし市三好町弥栄他地内を始めとした老朽管路の更新事業を1,983,105千円(17,891m)、管路の耐震適合率の向上のため、横道グリーン線を始めとした管路の耐震化事業を858,979千円(3,790m)を行います。その他に、電気計装設備の更新等を253,000千円行います。

◎管路耐震適合率(対前年度見込増減)
全管路 … 32.0% (1.7%ポイント増)
基幹管路 … 72.1% (0.1%ポイント増)

【配水設備改良費 構成比】 (千円)

【水道施設整備事業費 対前年度比較】 (千円)

補てん財源計

過年度分損益勘定留保資金	1,317,662
当年度分損益勘定留保資金	1,121,839
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	274,392
減債積立金	19,000
建設改良積立金	354,076

※令和4年度資金繰越額 (単位:千円)

収益的収支	収益的収入 (A)	7,713,807
	収益的支出 (B)	6,531,651
	うち現金を伴わない支出 (減価償却費、資産減耗費等)	2,087,027
	純利益 (A-B)	1,182,156
	うち長期前受金戻入を除いた利益	24,612
資本的収支	資本的収入 (C)	1,479,584
	資本的支出 (D)	4,566,553
	収支不足額 (C-D)	△ 3,086,969
前年度資金繰越額 ①	1,901,896	
当年度資金発生額 ②	2,386,031	
当年度純利益	24,612	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	274,392	
当年度分損益勘定留保資金	2,087,027	
財源充当額 ③	3,086,969	
翌年度資金繰越額 (① + ② - ③)	1,200,958	

《資本的収支 財源不足額》
⑪資本的収入額1,479,584千円に対して、資本的支出額は4,566,553千円となり、3,086,969千円の財源不足額が発生します。
⑫財源不足額については、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金と前年度以前の純利益を利益処分し、積み立てられた建設改良積立金等で補てんします。

【財源不足額内訳】 (千円)

消費税資本的収支調整額 274,392

過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 2,439,501

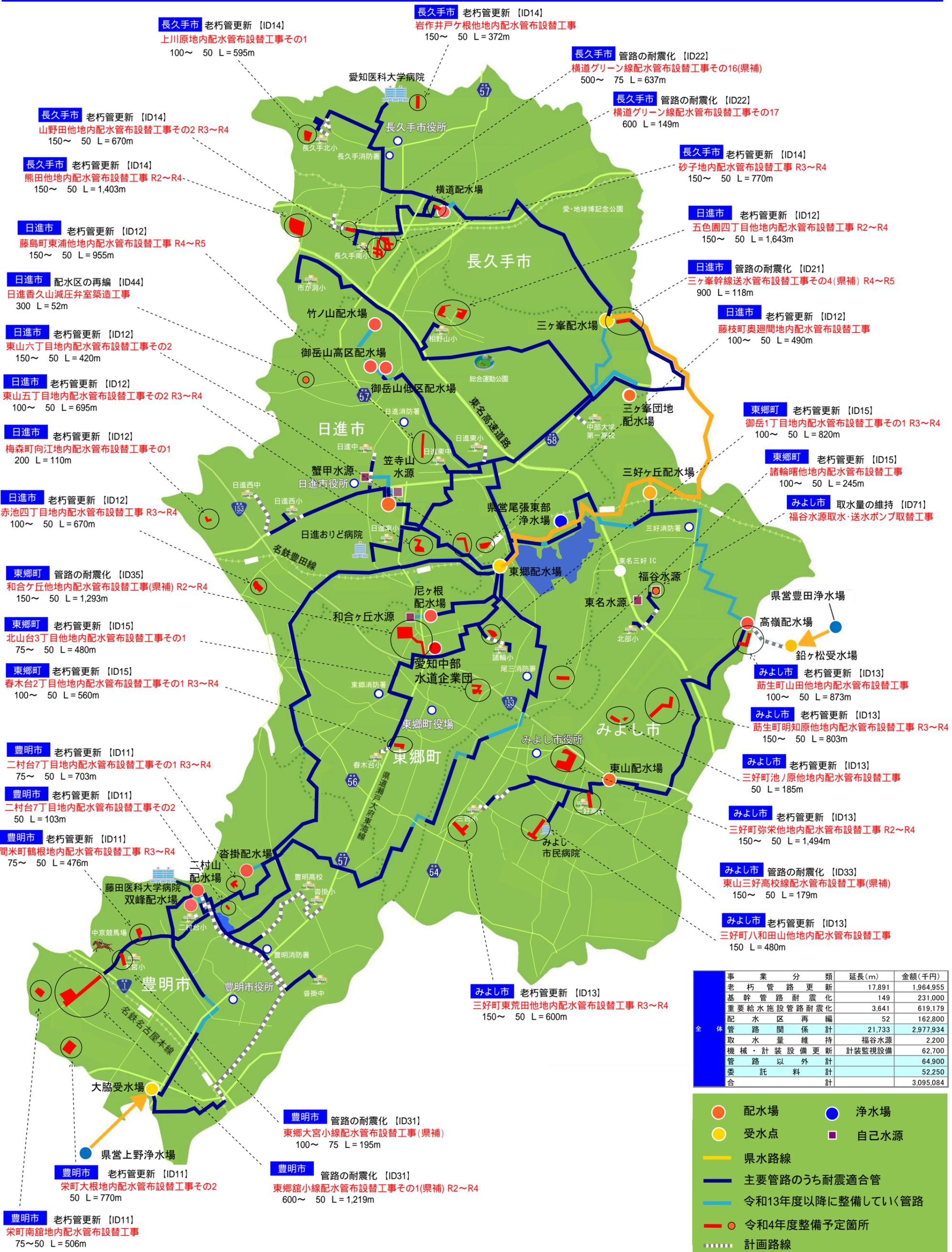
建設改良積立金等 373,076

資本的収入: 企業債 700,000, 工事負担金 726,894, 県補助金 52,360, 固定資産売却代金 330

資本的支出: 建設改良費 4,301,716, 企業債償還金 259,352, その他 5,485

財源不足額 3,086,969

9 令和4年度当初予算 第2次水道施設整備計画《位置図》



事業分類	延長(m)	金額(千円)
老朽管路更新	17,891	1,964,955
基幹管路耐震化	149	231,000
重要給水施設管路耐震化	3,641	619,179
配水区再編	52	162,800
管路関係計	21,733	2,977,934
取水量維持 福谷水源		2,200
機械・計装設備更新 計装監視設備		62,700
管路以外計		64,900
委託料計		52,250
合計		3,095,084

- 配水場
- 浄水場
- 受水点
- 自己水源
- 県水路線
- 主要管路のうち耐震適合管
- 令和13年度以降に整備していく管路
- 令和4年度整備予定箇所
- 計画路線

注) 計画路線のうち、R5年度以降に着手予定の路線については、地図上から省略してあります。